

和地ひとみレポート No.436

市議会主催の『市民の声を聴く会』を2年半ぶりに開催

令和4年度一般会計予算審査のポイントを初めて市の公式 You tube チャンネルで公表



■2年半ぶりに『市民の声を聴く会』を開催

…東大和市議会では“市民に開かれた議会”、“市民と議会が対話する場の設置”という方向性を平成24年(2012年)に決定して以来、年に2回、予算審査と決算審査を行った定例会後に『議会報告会』を開催することを決定しました。

…その後、『議会報告会』に参加いただいた方のアンケートなどから「決定したことを報告されるより、私たちの考えや意見を聞いてほしい」といった趣旨のご意見が多かったことを受け、会の名称、ならびに、開催趣旨を少し変更し『市民の声を聴く会』を開催することに。回ごとに議員約半数が実行委員となり、過去の参加者の意見などを参考に、内容を工夫、改善。参加者が「参加して良かった」と思っていただけの会を目指してきました。

…しかし2020年からのコロナ禍により、この『市民の声を聴く会』の開催も2019年11月に開催した回を最後に、2年半の間、開催できずにいましたが、2回目のワクチン接種がスタートしたところから、市議会の中では再開に向けて検討を開始。その結果、5月15日に『市民の声を聴く会』を2年半ぶりに開催することとしました。

■備えたコロナ対策

…『市民の声を聴く会』の5月開催に向けて実行委員会でも検討していた頃は、オミクロン株が拡大していた時期でした。よって、下記のコロナ対策に加え、万が一、開催が出来ない状況となった場合に備え、令和4年度一般会計予算審査のポイントの報告を動画(パワーポイントによる説明≒音声付きスライドのようなもの)により、You tubeの東大和市公式動画チャンネルに掲載する準備も行い、当日の説明にもこの動画を活用しました。

…この令和4年度一般会計予算審査のポイントの動画は、議長挨拶から始まり、予算全体の概要、総括質疑で出た質疑と答弁のポイント、また各常任委員会の所管に関する分野ごとの主な質疑と答弁のポイントという構成となっています。

…動画については長さを15分程度としたいところでしたが、あまりに内容が薄いと閲覧してくださった方が、がっかりすると考え、最終的には約20分の内容に。より多くの方に、お時間のある際には閲覧いただきたいと思いますが、ここでは、各常任委員会が動画で取り上げた質疑と答弁についての内容の一部を裏面でご紹介します。

※動画は、市のホームページのトップページの右側中断あたりの「東大和の広報」⇒「動画チャンネル」⇒「You tube 東大和市公式動画チャンネル」の中にあります。

【『市民の声を聴く会』のコロナ対策】

- ①通常より広い会場を用意(中央公民館ホール)
- ②定員20名の設定と事前予約(中止の場合の連絡と万が一の場合の連絡先把握)
- ③入り口での検温、手指消毒など

■今回の参加者は

…実は、コロナ対策をしたうえでの開催については、「インターネットの会議システムを活用して参加してもらおう」ことや、「当日、会場に来場できない人のためにインターネット中継をする」などの方法も検討しましたが、インターネット会議システムについては、参加する環境が整っていない人への公平性が担保できないこと。さらに、他市の市議会でもその方法で実施したところでは、参加者には不慣れな方もいて、スムーズな進行とならなかった例もあったとのこと。また、インターネット中継については、参加者のプライバシーの問題もあるため困難と最終的には判断。よって、今回の定員設定、事前予約制での開催方法に落ち着きました。

…結果、12名の参加応募があり開催となりました。この参加者数は前回の半分ですが、参加された方に対するアンケートでは全員が「今後も参加したい」と回答していただけました。また、当日いただいた主な意見については、概要を取りまとめ、後日、市議会のホームページに掲載されます。

【今回の参加者のアンケート結果より】

◆参加者の年代◆

20代:1名、60代:1名、70代:6名、80代以上:4名

◆開催を何で知ったか◆

市報:9名、市議会だより:1名、ホームページ1名、ポスター:1名

◆質疑応答について◆

良い:8名、どちらとも言えない:4名

◆今後の参加について◆

したい:12名(全員)

■一方で“市議会開催”の難しさも

…前述のとおり、市議会では『議会報告会』から『市民の声を聴く会』に変更して、市民の皆様との対話の場を設けてきました。参加される方の中には「市議会としての考えは？」と聞かれる方も複数いましたが、市政には市議会議員全員の意見が一致する案件と一致しない案件とがあり「市議会全体として…」の見解を、聞かれたその場で述べることは不可能です。

(裏面に続く)

…また、行政の執行側＝市長部局でないため、「ご要望を実現します」という約束も市議会ではできません。「市長部局に要望し、働きかけます」ということがせいぜいです。(それについても議員全員が一致した意見になる場合とならない場合があります)

…そのため、「市民の皆様の声をお聴きし、議員個人の活動や市議会の常任委員会の活動に活かす」ことを目的として『市民の声を聴く会』と変更しましたという事情もあります。市民の市政に対する声を議会でも取り扱う方法には「陳情」と「請願」があり、よって、『市民の声を聴く会』で聞いたことを、これら正式の制度を超えて「議会として」取り扱うことも難しいところです。

…私の場合、このレポートにより、市政の動きの報告とともに私の考えを述べさせていただいているため、それを踏まえて、ご要望や相談事、ご意見を、駅頭でのお話、メール、お電話、お手紙等により直接いただいているので、その場合は、私個人の考えなどで対応。“市議会として”対応する難しさ、複雑さと比較すると、ずっとシンプルです。

…また、今回の参加者12名は、少し残念な人数ですが、もし、「東大和市に原発が来る」などとなったら、大勢の市民の方が参加されるのでは…。開催している議会側としては、より多くの市民の方の参加を望んでいます。市全体として大きな問題がない中では、例えば地域の公民館等を会場に、その地域にお住いの方を中心に開催することや、何か具体的なテーマを提示したうえで市民の皆さんの意見をお聴きする場とする等といった方法の検討も、今後は必要だと感じました。

【令和4年度一般会計予算審査の動画で取り上げた各常任委員会の分野ごとの質疑と答弁の概要】

◆厚生文教委員会 関連◆

①老人福祉費の高齢者見守りボックス事業準備業務委託料 5,653万3千円の内容について

これは市内で4か所目の高齢者見守りボックスを開設する予算。(見守りボックスは、訪問による見守り、支援を要する高齢者の関係機関への引継ぎ、救急代理通報システムの利用の申請代行などを行うもの)開設スケジュールは 上半期で準備業務を行い、下半期で事業運営開始となる予定で、新しい見守りボックスの所管区域は、多摩湖、湖畔、高木、狭山、清水、中央であることを確認した。

②成人保険事業費 9,823万7千円を活用したがん検診の受診率向上について

令和4年度も健康づくりカレンダーを全戸配布する予定であるとともに、カレンダーには「検診受診を控えることで病気の発見が遅れることがある」ことなど、検診を積極的に受けることへの勧奨を記載し、市民に呼びかけるとのこと。また、市は複数の検診で定員を増やす予定とのことで、肝炎ウイルス検診は1140件を1185件に、胃がん検診は700件を860件に、乳がん検診は1310件を1405件に、大腸がんは1930件を1990件に増加させる予算であることを確認。

③平和事業費 560万8千円について

令和3年10月から、内部展示や解説業務を充実させ、公開日を週2日に増やした。令和4年度は、さらに、一般公開、学校授業や各種団体の見学の受入れを積極的に進める。

◆建設環境委員会 関連◆

①公害対策事業費 769万8千円には公衆喫煙所清掃委託料も含まれているため、受動喫煙対策についての市の考えについて

市は「受動喫煙防止対策に係る基本方針」を策定しており、子どもの受動喫煙防止策の優先、公共施設内の全面禁煙、公共施設敷地内の原則禁煙、屋外喫煙のルール化等の4点を検討対象として掲げているとのこと。

また、受動喫煙関連の条例については、多摩地区の多くの市で制定されているが、その目的は、環境美化、迷惑の防止、受動喫煙の防止等と様々な状況であるため、東大和市としては、条例の目的と規制する事項を、十分に見極めたいとの考えを確認。

②公園・緑地管理費 2億2,913万4千円について

■組織改正にともない、令和4年度予算では、公園管理と狭山緑地管理が公園・狭山緑地管理費に一本化された。また、公園関係はまちづくり部に属することになることで、公園等についても、「まちづくり」の視点で、一体的に運用が図れるとの考えを確認。

■ナラ枯れ等による樹木の伐採後の対応については、ナラ枯れした樹木は、「枝折れ」や「倒木」の危険が発生するため、東大和市では、伐採することを基準に作業しているとのこと。伐採後の植樹などの対応は、ナラ枯れの収束の動向を見ていきたいという意向が示された。

■令和4年度の歳入予算に計上されている、森林環境譲与税約906万円は、「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることとされているため、公園の既設遊具を木材の複合遊具に更新することに活用することを確認。

◆総務委員会 関連◆

①市役所本庁舎空調設備更新工事管理委託料の5億8,468万4千円について

本庁舎冷暖房の要となる設備の「冷温水発生機」の経年劣化に伴い、今後の運用が危ぶまれているため、必要不可欠な工事であること。工事による主な見直し点は、動力をガスから電気に変更したこと。また、空調方式を中央空調方式から個別空調方式に変更することで運転のオン・オフや室内の温度調整が個別に可能となるだけでなく、換気性能の大幅な向上も見込めるため、新型コロナウイルス感染症対策の一環としても有効であることを確認。

②新規計上された消防団員の処遇改善に係る経費 1,493万7千円について

消防団員の1人当たりの報酬額は、階級、また、出勤回数によって変わるため、一般団員を例に、近年の一般団員の年間平均出勤数15回をもとに計算すると、年額報酬と出勤報酬の合計で13万2千円となり、改正前と比べ年間1万8,500円の増額となることを確認。

③ふるさと納税を含めた寄付金 3,368万1千円の歳入予算について

東大和市の令和2年度のふるさと納税の状況は、東大和市民が他の自治体にふるさと納税をしたことによる市民税控除額は約1億2,300万円、東大和市が受け取った寄付金合計額は2,596万5,886円という状況。一般寄付金については、返礼品の拡充による効果があることから、市内の事業者にご協力をいただき、返礼品の拡充に取り組み、歳入の増と市内産業の振興に取り組んでいくことを確認。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前で配布するレポートは毎回、最新号です。
私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思えます。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木 3-274-2-102